

SafeBack

セーフバック

目次

はじめに-----	2
SafeBack とは-----	2
動作環境-----	2
インストール-----	2
アンインストール-----	2
SafeBack の操作-----	3 ~ 8
概要-----	3
起動-----	3
新規設定ファイルの作成-----	4
設定ファイルの読み込み-----	5
設定ファイルの削除-----	5
選択した設定ファイルの編集-----	6
処理順序の変更-----	6
実行オプションの設定-----	7
処理の実行-----	8
コマンドラインでの実行-----	9
ユーザー登録・サポート-----	10
ソフトウェア使用許諾-----	11

はじめに

Safe Back とは

SafeBack は弊社のセキュリティ USB 外部ストレージを便利にご利用いただくために開発された、バックアップ、データ同期ソフトウェアになります。弊社製品とあわせてご利用いただくことを想定した無償提供のツールです。

動作環境

OS	Windows 7 Ultimate/Professional/Home Premium/Starter/Enterprise Windows Vista Ultimate/Home Premium/Home Basic/Business/Enterprise Windows XP Home Edition/Professional (SP2 以降) Windows 2000 Professional (SP4) いずれも 32bit 版 日本語版のみに対応
CPU	Intel Pentium 1GHz 以上
メモリ	256MB 以上 (Vista は 512MB 以上)
データバックアップ先 対象 S D シリーズ製品	Sdcontianer 5.0 シリーズ Sdcontainer Light シリーズ SdcontainerHD

インストール

ダウンロードした zip ファイルを解凍し、作成された “SafeBack” フォルダを任意の場所にコピーしてください。

※SafeBack を使用すると、SafeBack.exe が保存されたフォルダ内に “SafeBack.ini” というファイルが作成されます。

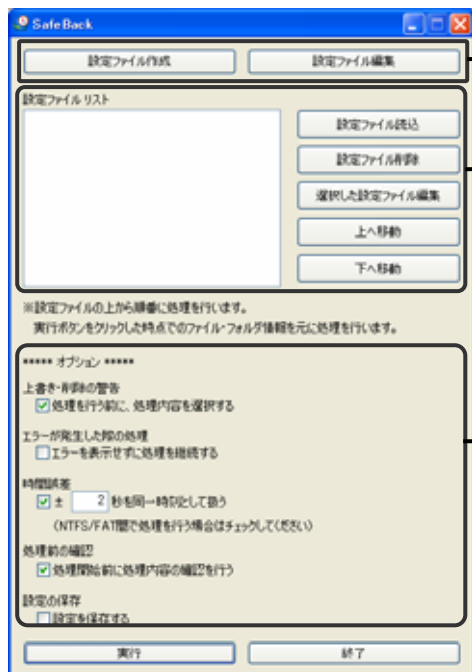
アンインストール

インストールしたフォルダごと削除してください。レジストリは使用していません。

SafeBackの操作

概要

SafeBack はバックアップするファイル、フォルダをあらかじめ設定ファイルとして保存し、それらの設定ファイルの通りに処理を実行するソフトウェアになります。



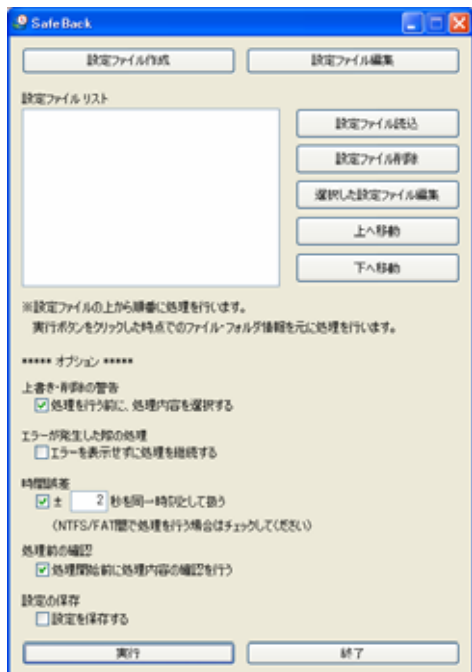
処理を行う内容を設定ファイルとして作成・編集します。

設定ファイルを読み込み、処理を行う内容、順番を設定します。

処理を実行するにあたってのオプションを設定します。

起動

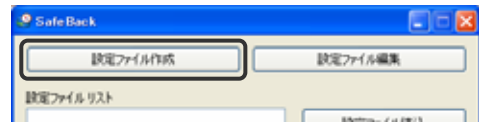
SafeBack フォルダ内の SafeBack.exe を実行すると、SafeBack が起動します。



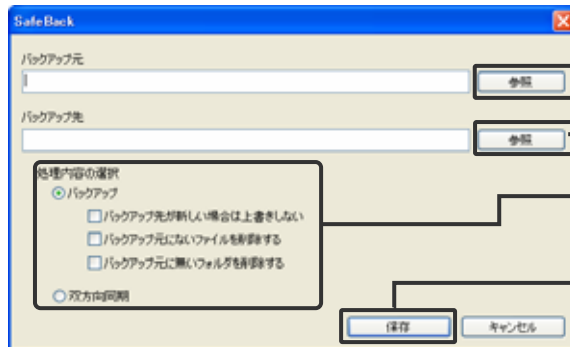
SafeBackの操作

新規設定ファイルの作成

1. 「設定ファイル作成」ボタンをクリックします。



2. 設定用ダイアログが表示されますので、処理内容の設定を行います。



(1) [参照]をクリックし、バックアップ元と、バックアップ先を指定します。

(2) 処理内容を選択します

(3) [保存]をクリックし、設定した内容をファイルとして保存します。

バックアップ

バックアップは、バックアップ元から、バックアップ先に対してファイルのコピーを行います。バックアップ先のファイル処理方法について変更したい項目はチェックしてください。

< バックアップ先が新しい場合は上書きしない >

チェックした場合は、バックアップ先に同じ名前のファイルがあっても、更新日時が同じか新しい場合はコピーを行いません。

< バックアップ元がないファイルを削除する >

チェックした場合は、バックアップ先にバックアップ元に存在しないファイルが存在した場合に削除されます。

< バックアップ元がないフォルダを削除する >

チェックした場合は、バックアップ先にバックアップ元に存在しないフォルダが存在した場合にフォルダ内のファイルを含めて削除されます。

双方向同期

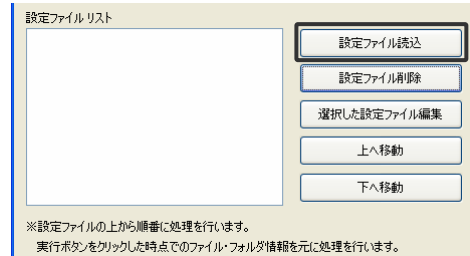
バックアップ元、バックアップ先のそれぞれのファイル・フォルダを補完し、同名のファイルについては更新日の新しいものに置き換えます。

SafeBackの操作

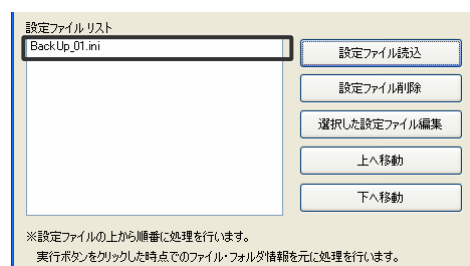
設定ファイルの読み込み

処理内容を設定したファイルを、処理対象として選択します。

1. 「設定ファイル読込」をクリックします。



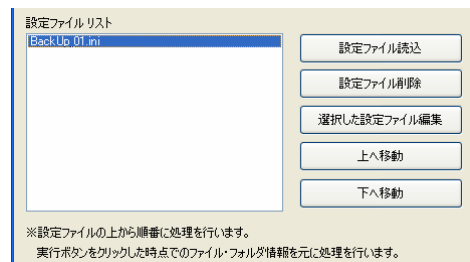
2. 設定ファイルを選択すると、設定ファイルリストに追加されます。



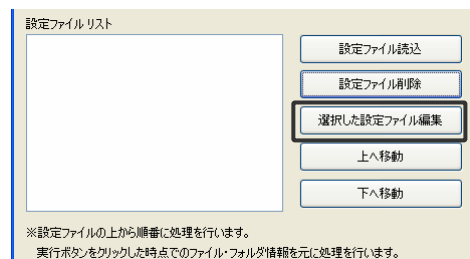
設定ファイルの削除

リストに追加した設定ファイルを削除するには以下の手順で操作を行います。

1. 削除したい設定ファイルをリストから選択します。



2. [設定ファイル削除]をクリックすると、リストから選択したファイルが外れます。

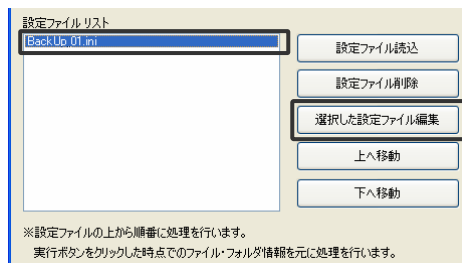


SafeBackの操作

選択した設定ファイルの編集

リストに追加したあとで、設定ファイルの処理内容を変更するには以下の手順で操作を行います。

1. 削除したい設定ファイルをリストから選択し、[選択した設定ファイル編集]をクリックします。



2. 設定用ダイアログが表示されますので、処理内容の編集を行います。

メモ

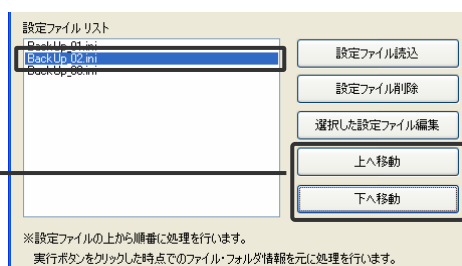
* メモ: 変更した内容は元の設定ファイルにも反映されますのでご注意ください。

処理順序の変更

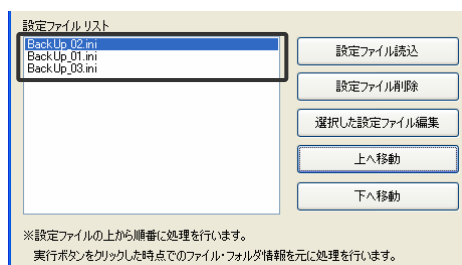
SafeBack は、設定ファイルリストの上から順番に処理を行います。処理の順序を変更するには以下の操作を行います。

1. 処理順序を変更したい設定ファイルをリストから選択します。

2. 移動させたい方のボタンをクリックします。



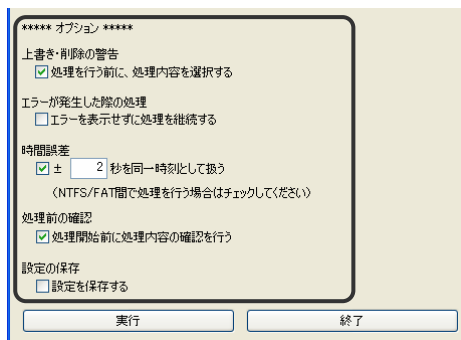
3. 設定ファイルリストの順番が変わります。



SafeBackの操作

実行オプションの設定

実行時のオプションを設定します。



The screenshot shows a dialog box titled "***** オプション *****". It contains several settings:

- 上書き・削除の警告**: 処理を行う前に、処理内容を選択する
- エラーが発生した際の処理**: エラーを表示せずに処理を継続する
- 時間誤差**: ± 2 秒を同一時刻として扱う
(NTFS/FAT間で処理を行う場合はチェックしてください)
- 処理前の確認**: 処理開始前に処理内容の確認を行う
- 設定の保存**: 設定を保存する

At the bottom, there are two buttons: "実行" (Execute) and "終了" (End).

上書き・削除の警告

処理実行時に上書きと削除の処理があった場合に、ファイル単位で処理を実行するかどうかを選択するダイアログを表示するかどうかの設定です。チェックをはずすと、警告ダイアログなしに処理を行います。

エラーが発生した際の処理

ファイルが使用中で削除処理ができない、実行ボタンをクリックした時と処理を実行するさいの処理ファイルの状況が違う等で処理が実施できない、等のエラーが発生した場合にエラーダイアログを表示するかどうかの設定です。チェックを行うと、エラーが発生しても継続して処理を行います。

時間誤差

バックアップ元とバックアップ先で、ファイルの更新時間比較の際に許容する誤差の設定です。設定された秒数の誤差であった場合は同一ファイルとして処理を行います。

処理前の確認

処理を実行する前に処理する内容を表示するかどうかの選択です。チェックした場合は、実行ボタンをクリック後、処理する内容が一覧で表示されます。但し、処理数が1000件を超える場合は一覧表示できませんのでCSVファイルにいったん出力してからご確認ください。

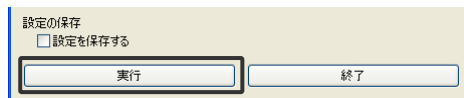
設定の保存

設定ファイルのリスト、実行オプションの状態を保存するかどうかの設定です。チェックした場合は、SafeBack 終了時の状態を保存し、次回は同じ状態で起動します。

SafeBackの操作

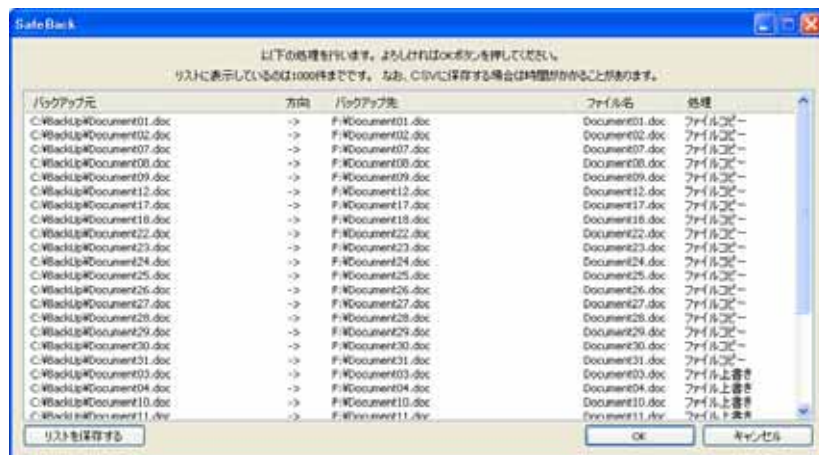
処理の実行

1. 処理を行う設定ファイルリストと、実行時のオプションを設定したら、[実行]をクリックし、処理を開始します。



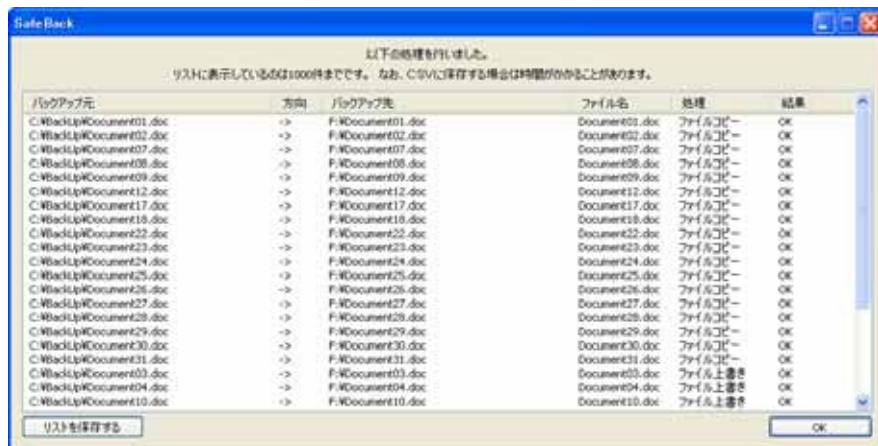
2. オプションで「処理前の確認」のチェックがされている場合は処理を実行する内容がリストで表示されます。処理内容に問題がないか確認をしてください。

処理数が1000件を超える場合はリストには表示されません。[リストを保存する]をクリックし、CSV ファイルで保存してから確認を行ってください。



3. [OK]をクリックすると処理が開始されます。

4. 処理実行後、処理結果のリストが表示されます。処理数が1000件を超える場合はリストには表示されません。処理結果を保存したい場合は[リストを保存する]をクリックし、CSV ファイルで保存します。




- 5 [OK]をクリックするとメイン画面に戻ります。

コマンドラインでの実行

SafeBackは、コマンドラインでのオプション指定付き実行に対応しています。この機能を使用し、Windowsのタスクスケジューラ等を組み合わせて定期的なバックアップ処理を行うことが可能です。

コマンドラインで実行する引数は5つあり、省略はできません。

```
C:> "SafeBack.exe 保存先フォルダ"SafeBack.exe"△第1引数△第2引数△第3引数△第4引数△第5引数
```

半角スペース、 はエンターを示します。斜体箇所はお客様環境によって異なります。

"SafeBack.exe 保存先フォルダ"はフルパスで指定してください。

第1引数

ファイルの上書きや削除処理が行われる場合に事前に警告を表示するか、警告を表示しないかを指定します。0 or 1 を指定して下さい。

0:警告を表示しない場合

1:警告を表示する場合

第2引数

ファイルコピー等の処理中にエラーが発生した場合にエラーを表示するか、エラーを無視して表示しないかを指定します。0 or 1 を指定して下さい。

0:エラーを表示する場合

1:エラーを無視して表示しない場合

第3引数

ファイルコピー等の処理ログを保存するか、保存しないかを指定します。0 or 1 を指定して下さい。

0:ログを保存しない

1:ログを保存する

保存されるログのファイル名は[年月日時分秒_設定ファイル名.csv]で、SafeBack.exe が保存されているフォルダ内に保存されます。

第4引数

時間誤差を何秒とするかを定める設定値です。0 ~ 99 の範囲で指定してください。(単位は秒)

時間誤差を使用しない場合は0を設定します。

第5引数

設定ファイルのファイルパス(フルパス)を指定します。拡張子(*.ini)まで含めて指定してください。

メモ

* フルパスは半角のダブルクォーテーション(")でくってください。

ユーザーサポート

SafeBack に関するユーザーサポートは、組み合わせてご利用になっている弊社製品のユーザーサポートページ経由で受け付けております。

お問い合わせは下記、サポートページ経由でご連絡ください。

<http://www.safety-disclosure.jp/user/support/>

ソフトウェア使用許諾書

- 1 本ソフトウェアはイーディーコントライブ株式会社(以下、当社という)の著作物です。したがって、本ソフトウェアおよび本紙の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2 本ソフトウェアの内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
- 3 本ソフトウェアの使用または使用できないことにより生じる損害、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、特別損害、または利益の損失に付き、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 4 本ソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、いかなる場合においてもお客様に移転されません。
- 5 本ソフトウェアのソースコードについては、いかなる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
- 6 書面による事前の承諾を得ずに、本ソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
- 7 本ソフトウェアに関し、日本国内でのみテクニカルサポート、およびアフターサービス等行っております。
- 8 本ソフトウェアは医療機器や人命に直接・間接的に関わるシステム、高い安全性が要求される設備や機器に組み込んでの使用は意図されておりません。これらのシステムや設備等に本ソフトウェアを使用され、本ソフトウェアの動作により人身事故、火災事故、社会的損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。また、高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステム等の安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。
- 9 本ソフトウェアまたはその使用权を第三者に再使用許諾、譲渡、移転等の処分を行うことを禁止します。
- 10 本ソフトウェアに起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本ソフトウェアの購入代金と同額を上限といたします。
- 11 当社は、お客様が上記の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本ソフトウェアのご使用を終了させることができるものとします。

SafeBack
ユーザーズマニュアル
2009年11月第2版発行
発行:イーディーコントライブ株式会社